

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
<b>第1部 世界と日本の地域構成</b>						
第1章 世界の姿				■章の問い■ 世界にはどのような国があり、その地域を表すには、どのような方法があるのだろうか。	世界の地域構成を取りあげ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につけるようにする。 (1) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解できる。 (2) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。	①世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。 ②国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。 ③地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究しようとしている。
1年1学期	1年前期	1	2   3	<b>1 私たちの住む地球を眺めて</b> ◎地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分することができるのだろうか。	(1) 地球儀や地図などを活用し、六大陸と三大洋の位置と分布や名称を理解できる。 (2) 海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解できる。	①六大陸と三大洋および六つの州の位置や分布と名称を理解している。 ①海峡や運河、山脈などにより、世界は六つの州に区分されることを理解している。
1年1学期	1年前期	2	4   7	<b>2 世界のいろいろな国々の特徴</b> ◎世界にはどのような国があり、それらの国にはどのような特徴があるのだろうか。	(1) 地図帳を活用し、世界の主な国の位置と名称を理解できる。 (2) 世界の主な国々の特徴を、地理的な要因や文化的な背景などを基にして考察して説明できる。	①地図帳を活用し、世界の主な国の位置と名称を理解している。 ②世界の主な国の特徴を、位置関係や自然環境、面積や人口、国旗、文化など、さまざまな要因から考察し、説明している。
1年1学期	1年前期	3	8   9	<b>3 緯度と経度</b> ◎世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	(1) 地球上の位置を緯度・経度を用いて表現できる。 (2) 地図帳のさくいんを活用し、位置を調べることができる。	①緯度と経度のしくみを理解し、地球上の位置を緯度・経度を用いて示している。 ②地図帳のさくいんを活用し、世界の主な都市の位置を調べ、表現している。
1年1学期	1年前期	4	10   11	<b>4 地球儀と世界地図の違い</b> ◎地球儀と世界地図には、それぞれどのような長所と短所があるのだろうか。	(1) 地球儀とさまざまな図法の世界地図を比較し、地球儀と地図の違いを理解して正しく活用できる。 (2) 球体は平面の地図に正しく表せないことに気付き、地球儀と世界地図の長所と短所を考察できる。	①地球儀と世界地図の違いを方位や面積、距離などに着目して理解し、正しく活用している。 ②緯線と経線が直角に交わる地図は、緯度が高くなるほど、実際の面積より大きく表されている理由を考察している。 ③地球儀と世界地図の違いが生じる理由や、さまざまな種類の世界地図があることについて多面的・多角的に考察している。
1年1学期	1年前期	13		学習を振り返ろう ■章の問い■ 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。	(1) 世界の地域構成に関する基礎的事項を確認し、理解する。 (2) 地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現できる。 (3) 地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について、そこに見られる課題を主体的に追究する。	①世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解し、地図帳のさくいんや統計資料を活用している。 ②国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。 ③地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について、そこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第2章 日本の姿				■章の問い■ 日本の位置や広がりには、どのような特徴があるのだろうか。	日本の地域構成を取りあげ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につけるようにする。 (1) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解できる。 (2) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。 (3) 世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決する。	①世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。 ②世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。 ③世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。
1年1学期	1年前期	5	14   15	<b>1 世界のなかでの日本の位置</b> ◎日本の位置は、緯度・経度でみた場合や、世界のほかの地域からみた場合、どのように表されるのだろうか。	(1) 世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解できる。 (2) 地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな方法で説明できる。	①世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解している。 ②地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな視点から表す方法を考察、表現している。
1年1学期	1年前期	6	16   17	<b>2 日本と世界各地との時差</b> ◎地球上の位置によって、時刻が異なるのはなぜだろうか。	(1) 世界各地の標準時はどのようなしくみで定められているのかを理解し、実社会での課題解決に活用する。 (2) 地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察できる。	①世界の時刻はグリニッジ標準時が基準となっていて、旧グリニッジ天文台との緯度の差で各国の標準時が定められていることを理解しているとともに、世界標準時の仕組みを活用している。 ②地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察している。
1年1学期	1年前期	7	18   21	<b>3 日本の領域とその特徴</b> ◎海に囲まれた日本の領域には、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 排他的経済水域の意味を理解し、日本の領域と排他的経済水域の範囲や日本の領域の特徴を理解する。 (2) 日本の領土を理解し、領土についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察する。	①日本の領域の範囲を理解し、国土面積の10倍以上の排他的経済水域があることを理解している。 ②北方領土や竹島、尖閣諸島について、歴史的な経緯や課題などを多面的・多角的に考察している。
1年1学期	1年前期	8	22   23	<b>4 都道府県と都道府県庁所在地</b> ◎日本はどのような都道府県に分けられ、どのような所に都道府県庁が置かれているのだろうか。	(1) 日本の都道府県と都道府県庁所在地名とその位置を理解する。 (2) 都道府県の境界はどのような場所に定められているのか、多面的・多角的に考察する。	①日本の都道府県と都道府県庁所在地名とその位置をさまざまな関係とともに理解している。 ②都道府県の境界が定められている場所について、地理的な条件や歴史的な背景などから多面的・多角的に考察している。
1年1学期	1年前期	25		学習を振り返ろう ■章の問い■ 日本の位置や広がりには、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 日本の地域構成に関する基礎的事項を確認する。 (2) 日本の地域構成に関して、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。 (3) 世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究する。	①世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示しているとともに、日本と各地との時差を活用している。 ②世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察し表現している。 ③世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究している。
<b>第2部 世界のさまざまな地域</b>						

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
<p><b>第1章 人々の生活と環境</b></p> <p>■章の問い■ 世界各地の人々の生活は、自然環境や宗教とどのような関わりがあるのだろうか。</p>						
1年1学期	1年前期	9	26   29	<p><b>1 世界のさまざまな生活と環境</b></p> <p>◎人々の生活と深く関わっている気候は、地域によってどのように違うのだろうか。</p>	<p>(1) 世界各地の衣食住の様子から、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解する。</p> <p>(2) 景観写真や雨温図、主題図を活用し、気候から世界のさまざまな地域の地域的特色を考察することができる。</p>	<p>①世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。</p> <p>②世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に追究しようとしている。</p>
1年1学期	1年前期	10	30   31	<p><b>2 暑い地域の暮らし ～インドネシアでの生活～</b></p> <p>◎雨が多く気温が高いインドネシアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>(1) 熱帯の分布と気候の特色を理解する。</p> <p>(2) 熱帯に暮らす人々の生活の特色を、気候の特色と関連付けて考察することができる。</p>	<p>①景観写真や雨温図などを活用し、熱帯の分布の特色と気候の特色を理解している。</p> <p>②熱帯に暮らす人々の生活の特色を、インドネシアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。</p>
1年1学期	1年前期	11	32   33	<p><b>3 乾燥した地域の暮らし ～アラビア半島での生活～</b></p> <p>◎乾燥した地域が広がるアラビア半島では、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>(1) 乾燥帯の分布と気候の特色を理解する。</p> <p>(2) 乾燥帯に暮らす人々の生活の特色を、気候の特色と関連付けて考察することができる。</p>	<p>①景観写真や雨温図などを活用し、乾燥帯の分布の特色と気候の特色を理解している。</p> <p>②乾燥帯に暮らす人々の生活の特色を、アラビア半島の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。</p>
1年1学期	1年前期	12	34   35	<p><b>4 温暖な地域の暮らし ～スペインでの生活～</b></p> <p>◎温暖なスペインでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>(1) 温帯の分布と気候の特色を理解する。</p> <p>(2) 温帯に暮らす人々の生活の特色を、気候の特色と関連付けて考察することができる。</p>	<p>①景観写真や雨温図などを活用し、温帯の分布の特色と気候の特色を理解している。</p> <p>②温帯に暮らす人々の生活の特色を、スペインの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。</p>
1年1学期	1年前期	13	36   37	<p><b>5 寒い地域の暮らし ～シベリアでの生活～</b></p> <p>◎冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>(1) 亜寒帯・寒帯の分布と気候の特色を理解する。</p> <p>(2) 亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活の特色を、気候の特色と関連付けて考察することができる。</p>	<p>①景観写真や雨温図などを活用し、亜寒帯・寒帯の分布の特色と気候の特色を理解している。</p> <p>②亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活の特色を、シベリアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察している。</p>
1年1学期	1年前期	14	38   39	<p><b>6 高地の暮らし ～アンデス山脈での生活～</b></p> <p>◎標高が高いアンデス山脈の高地では、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p>	<p>(1) 世界の高地の分布や特色と、アンデス山脈の気候の特色を理解する。</p> <p>(2) 高地に暮らす人々の生活の特色を、自然環境との関わりから考察することができる。</p>	<p>①写真や雨温図などを活用し、世界の高地の分布や気候の特色を理解することができる。</p> <p>②高地に暮らす人々の生活の特色を、アンデス山脈の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察することができる。</p>
1年1学期	1年前期	40   41		<p><b>7 人々の生活と宗教の関わり</b></p> <p>◎世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>(1) 世界各地の宗教の分布と特色について、仏教、キリスト教、イスラム教を中心に理解する。</p> <p>(2) 世界各地の宗教が、人々の生活にどのような影響を与えているか考察する。</p>	<p>①世界の主な宗教の分布と、仏教、キリスト教、イスラム教の特色を理解している。</p> <p>②世界各地の宗教とその地域の生活との関連を多面的・多角的に考察している。</p>
1年1学期	1年前期	15	42	<p>章の学習を振り返ろう</p> <p>■章の問い■ 世界各地の人々の生活は、自然環境や宗教とどのような関わりがあるのだろうか。</p>	<p>(1) 人々の生活と環境に関する基礎的事項を、地図を用いて確認する。</p> <p>(2) 地理的な見方・考え方を働かせて、世界各地の人々の生活と自然環境や宗教とのかかわりを考察して表現する。</p> <p>(3) 章の問いの解決に向けて学習の成果を考察しながら主体的に取り組む。</p>	<p>①世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。</p> <p>②世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、景観写真や地図、主題図などを活用しながら多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、章の問いを主体的に追究している。</p>
<p><b>第2章 世界の諸地域</b></p>						
<p><b>第1節 アジア州</b></p> <p>■節の問い■ アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>						
1年2学期	1年前期	16	48   49	<p><b>1 アジア州の自然環境</b></p> <p>◎アジア州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。</p>	<p>(1) アジア州を区分し、それぞれの自然環境の特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから気候の特色を理解する。</p> <p>(2) アジア州の気候の特色について、モンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>①アジア州の自然環境に関する特色を、雨温図や景観写真などから理解している。</p> <p>②アジア州の気候の特色について、モンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
1年2学期	1年前期	17	50   51	<b>2 アジア州の農業・文化と経済発展</b> ◎多様な自然環境が広がるアジア州では、どのように農業や文化が生まれ、人口が集中する地域が形成されてきたのだろうか。	(1) アジア州の農業や宗教、人口分布の特色を、資料を活用して理解する。 (2) アジア州の農業地域の分布と人口分布と関連付け、その特色を考察する。	①農業地域や宗教別人口割合などの資料を活用し、アジア州における農業や宗教、人口分布の特色を理解している。 ②年間降水量と農業の特色との関係や、農業地域の分布と人口分布との関連について多面的・多角的に考察している
1年2学期	1年前期	18	52   53	<b>3 経済成長を急速に遂げた中国</b> ◎巨大な人口を抱える中国では、急速な経済成長によって、社会にどのような変化と課題が生じてきているのだろうか。	(1) 中国の急速な経済発展や地域の変化について、その特色を理解する。 (2) 急速な経済発展に伴って進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現する。	①さまざまな資料から中国の経済成長の様子を読み取り、中国の経済成長の特色を理解している。 ②さまざまな資料を活用して経済成長を急速に遂げたことで生じている中国が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。
1年2学期	1年前期	19	54   55	<b>4 最も近い隣国、韓国</b> ◎最も近い隣国である韓国は、日本とどのような関わりがあるのだろうか。また、産業はどのように発展したのだろうか。	(1) 韓国の文化や産業の特色と、首都圏への一極集中による課題を理解する。 (2) 韓国の生活・文化や社会と産業の発展について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現する。	①さまざまな資料を活用して、韓国の文化や産業の特色を理解している。 ②さまざまな資料を活用して、韓国の生活・文化や産業の発展について多面的・多角的に考察し、表現している。
1年2学期	1年後期	20	56   57	<b>5 経済発展を目指す東南アジア</b> ◎東南アジアの国々は、ほかの地域の国々との関わりをなかで、どのように工業化を進め、経済を発展させてきたのだろうか。	(1) 東南アジアの工業化について、資料から日本企業の進出増加やその背景について読み取り、理解する。 (2) 急速に経済発展する過程で発生する問題について考察する。	①進出した日本企業数の推移や進出の背景を資料から読み取り、東南アジアの工業化について理解している。 ②経済発展の過程で発生する問題について、農村と都市の両方から考察している。
1年2学期	1年後期	21	58   59	<b>6 産業発展と人口増加が急速に進む南アジア</b> ◎人口増加の続く南アジアの国々では、どのような産業が発展しているのだろうか。	(1) さまざまな資料を活用して、南アジアの経済発展の様子を理解する。 (2) インドでICT関連産業が急速に発達した背景と貧困層の問題を、多面的・多角的に考察する。	①南アジアの農業や工業の特色を資料から読み取らせ、産業の発展について理解している。 ②インドでICT関連産業が成長した背景やインドの抱える課題について、多面的・多角的に考察している。
1年2学期	1年後期	22	60   61	<b>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</b> ◎中央アジアや西アジアの国々の発展は、どのような産業によって生み出されたのだろうか。	(1) 西アジアや中央アジアの経済成長について理解し、原油の生産や輸出が西アジアや中央アジアの経済発展につながっていることを理解する。 (2) 他地域との結び付きに着目して、原油の生産や輸出が西アジアや中央アジアの発展に与える影響について、多面的・多角的に考察する。	①資料から、西アジアや中央アジアではさまざまな資源が産出されることと、そのおおまかな分布を理解している。 ②原油で得た利益を、交通・通信網の整備や観光業の発展などの分野に活用している背景を考察している。 ③紛争が多いことの影響を、原油と関連させて多面的・多角的に考察している。
1年2学期	1年後期	23	62   63	学習を振り返ろう ■節の問い■ アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) アジア州について学習した内容を、地図を用いて整理する。 (2) アジア州の学習の成果を生かして節の問いについて考察し、その成果を表現する。 (3) 急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題とその解決を、主体的に追究する。	①多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解させ、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。 ②アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目させ、多面的・多角的に考察、表現している。 ③急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究している。
<b>第2節 ヨーロッパ州</b>				■節の問い■ ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	ヨーロッパ州を取りあげ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につけるようにする。 (1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解することができる。 (2) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し理解することができる。 (3) ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。	①空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。 ②空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野にいれて主体的に追究しようとしている。
1年2学期	1年後期	24	66   67			
1年2学期	1年後期	25	68   69	<b>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</b> ◎ヨーロッパ州の国々には、文化にどのような共通性や多様性がみられるのだろうか。	(1) ヨーロッパ州では、キリスト教による文化の共通性がある一方で、細かな違いによる多様性があることについて理解することができる。 (2) キリスト教の宗派と言語の分布には関連性があるということ考察することができる。	①ヨーロッパ州の文化の特色を、地理的広がりや歴史的背景を踏まえながら理解している。 ②ヨーロッパ州の宗教と言語の特色を、共通性と多様性の両面から考察している。
1年2学期	1年後期	26	70   71	<b>3 EUの成り立ちと人々の生活の変化</b> ◎ヨーロッパ州では、なぜ国境を越えた結び付きを強めてきたのだろうか。	(1) EU誕生までの経緯や、EUの成立による影響を理解することができる。 (2) EU結成の背景や、統合による人々の生活の変化について考察することができる。	①EU加盟によって加盟国や周辺国にもたらされる影響について理解している。 ②EU設立の理由について考察し、表現している。 ③EUの統合により、人々の生活にもたらされた変化について考察している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
1年2学期	1年後期	27	72   73	<b>4 ヨーロッパ州の農業とEUの影響</b> ◎ヨーロッパ州の農業には、地域によってどのような特色があり、EU統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。	(1) ヨーロッパ州で行われている農業の地域の違いを理解することができる。 (2) EUの取り組みがヨーロッパ州の農業にもたらした影響を考察することができる。	①ヨーロッパ州の農業の特色や地域での違いを、自然環境と関連させて理解している。 ②EUがヨーロッパ州の農業にもたらす影響について考察し、表現している。
1年2学期	1年後期	28	74   75	<b>5 ヨーロッパ州の工業とEUの影響</b> ◎ヨーロッパ州の工業はどのように変化し、EU統合によってどのような影響が生じているのだろうか。	(1) ヨーロッパ州の工業の特色と、EUの統合が工業にもたらした影や課題を理解することができる。 (2) EU加盟後にみられる変化を資料から読み取り、その背景を考察することができる。	①ヨーロッパ州の工業の特色について、歴史的背景とEU統合による変化を踏まえて理解している。 ②EU加盟後にみられる、工業における変化の背景を考察している。
1年2学期	1年後期	29	76	<b>6 EU統合による課題への取り組み</b> ◎統合を進めてきたEUはどのような課題を抱えているのだろうか。	(1) EUが抱える経済格差の状況を、資料から読み取ることができる。 (2) EUが模索する新たな統合の在り方について考察することができる。	①EUの拡大に伴って、原加盟国と新規加盟国との間に経済格差が生じていることを、資料から読み取っている。 ②現在のヨーロッパ州が抱える課題を踏まえて、EUが模索する新たな統合の在り方について考察し、表現している。
1年2学期	1年後期	30	78   79	学習を振り返ろう ■節の問い■ ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) ヨーロッパ州について学習した内容を、地図を用いて理解することができる。 (2) 学習の成果をEU統合によって生じている地域の影響について考察し、表現することができる。 (3) 他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野にいれて主体的に追究することができる。	①ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。 ②国どうしや他地域との結びつきに着目させて、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野にいれて主体的に追究しようとしている。
<b>第3節 アフリカ州</b>				■節の問い■ アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	アフリカ州を取りあげ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 (2) アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州の地域的特色を大観し理解する。 (3) アフリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) アフリカ州の歴史的な経緯に着目しながら、アフリカ州が抱える課題やその解決を主体的に追究する。	①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。 ②輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察し表現している。 ③ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。
1年2学期	1年後期	31	82   83	<b>1 アフリカ州の自然環境</b> ◎アフリカ州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図を活用して理解する。 (2) アフリカ州の気候の特色を、雨温図や植生から考察することができる。	①アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図の読み取りを通して理解している。 ②アフリカ州の気候の特色を、植生や人々の暮らしと関連させて考察している。
1年2学期	1年後期	32	84   85	<b>2 植民地支配の影響が残る産業</b> ◎アフリカ州の国々がたどってきた歴史は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) アフリカ州の国々が植民地支配されていた歴史を理解する。 (2) 植民地時代の宗主国との結びつきについて図表などから考察する。	①アフリカ州の国々が植民地支配されていた歴史や植民地時代の宗主国とのつながりを地図活用して理解している。 ②アフリカ州の産業の発展や特色を、植民地時代の宗主国との結びつきと関連付けて関連付けて考察している。
1年2学期	1年後期	33	86   87	<b>3 アフリカが抱える課題とその取り組み</b> ◎アフリカ州の国々では、発展に向けてどのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) アフリカ州が抱える課題について、資料を活用して理解できる。 (2) アフリカ州の発展のために必要な支援について追究し、考察することができる。	①アフリカ州の抱える課題について、人口の増加や農業の特色を踏まえて理解している。 ②アフリカ州の発展のために必要な支援について、多面的・多角的に考察している。
1年2学期	1年後期	34	88   89	学習を振り返ろう ■節の問い■ アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) アフリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通してアフリカ州の国々の発展のために必要な取り組みについて多面的・多角的に考察し、表現する。 (3) ③ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の課題を把握し、課題の解決を主体的に追究する。	①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解させ、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。 ②輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究させ、その問題点を多面的・多角的に考察している。 ③ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
				<b>第4節 北アメリカ州</b> ■節の問い■ 北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	北アメリカ州を取りあげ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 (2) 北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解する。 (3) 北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 北アメリカ州の強大な産業の発展に着目しながら、北アメリカ州が抱える課題やその解決を主体的に追究する。	①世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。 ②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。 ③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。
1年3学期	1年後期	35	94   95	<b>1 北アメリカ州の自然環境</b> ◎北アメリカ州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解する。 (2) 北アメリカ州の気候の特色について、緯度や大陸内の位置から考察する。	①北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解している。 ②北アメリカ州の気候について、雨温図の読み取りや大陸内の位置から考察している。
1年3学期	1年後期	36	96   97	<b>2 移民の歴史と多様な民族・文化</b> ◎北アメリカ州における民族の多様性は、地域にどのような変化をもたらしたのだろうか。	(1) 北アメリカ州の移民の歴史を基に、現在の民族分布との関連について資料から理解する。 (2) アメリカ合衆国の文化に見られる移民の影響について、多面的・多角的に考察する。	①北アメリカ州の移民と開拓の歴史について理解している。 ①地図から、アメリカ合衆国における人種・民族の分布の特色を読み取ることができる。 ②移民がアメリカ合衆国の言語や宗教、音楽などの文化や産業に与えている影響について、多面的・多角的に考察している。
1年3学期	1年後期	37	98   99	<b>3 大規模な農業と多様な農産物</b> ◎なぜ、北アメリカ州では、農産物を大量に生産したり、輸出したりできるのだろうか。	(1) アメリカ合衆国では、適地適作による大規模農業が行われていることを理解する。 (2) アメリカ合衆国の農業が、世界に大きな影響力をもっている理由を、多面的・多角的に考察する。	①アメリカ合衆国の農業について、大規模農業と適地適作の面から理解している。 ①資料を活用して、アメリカ合衆国とカナダのおおまかな農業地域の分布を理解している。 ②アグリビジネスや穀物メジャーが世界に与える影響について、アメリカ合衆国の農業の特色を踏まえて考察している。
1年3学期	1年後期	38	100   101	<b>4 世界をリードする先端技術</b> ◎アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら、世界をリードするまでに発達したのだろうか。	(1) アメリカ合衆国の工業地域の移り変わりを理解する。 (2) アメリカ合衆国で先端技術産業が盛んな理由を、多面的・多角的に考察する。	①アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解している。 ②アメリカ合衆国で先端技術産業が発達した理由について、多面的・多角的に考察している。
1年3学期	1年後期	39	102   103	<b>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</b> ◎アメリカ合衆国の人々の生活には、どのような特色と課題があるのだろうか。	(1) 車社会に代表されるアメリカ合衆国の大量生産・大量消費の生活様式の特色と、その課題を理解する。 (2) アメリカ合衆国における、持続可能な社会への取り組みについて考察する。	①アメリカ合衆国の大量生産・大量消費にみられる生活や文化の特色を理解している。 ②アメリカ合衆国の持続可能な社会への取り組みについて多面的・多角的に考察している。
1年3学期	1年後期	40	104   105	学習を振り返ろう ■節の問い■ 北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) 北アメリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して、巨大な産業が北アメリカ州に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 (3) 巨大な産業が発達したことに着目しながら、北アメリカ州の課題を把握し、課題の解決を主体的に追究する。	①世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。 ②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。 ③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究している。
				<b>第5節 南アメリカ州</b> ■節の問い■ 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	南アメリカ州を取りあげ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 (2) 南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、南アメリカ州の地域的特色を大観し理解する。 (3) 南アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 南アメリカ州の地域的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究する。	①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。 ②ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。 ③農地や鉱山の開発に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と開発に伴う環境問題について主体的に追究しようとしている。
1年3学期	1年後期	41	108   109	<b>1 南アメリカ州の自然環境</b> ◎南アメリカ州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 南アメリカ州の地形の特色を、地図などの読み取りから理解する。 (2) 南アメリカ州の気候の特色を、標高や緯度に着目して考察する。	①南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取らせ、理解している。 ②南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察している。
1年3学期	1年後期	42	110   111	<b>2 多様な民族や文化が混ざり合う社会</b> ◎南アメリカ州の国々の文化や民族の特色は、どのような歴史を経て、成り立っているのだろうか。	(1) 先住民と移民の文化が融合する南アメリカ州の人々の生活について、さまざまな資料を活用して理解する。 (2) 南アメリカ州の文化の成り立ちや、現在までの変化と課題について多面的・多角的に考察する。	①南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取り、理解している。 ②南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察している。
1年3学期	1年後期	43	112   113	<b>3 大規模化する農業と成長する工業</b> ◎南アメリカ州の国々の産業は、どのように変化しているのだろうか。	(1) 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色を、歴史的背景や豊かな資源から理解する。 (2) 農業や工業の発展が南アメリカ州の経済に与えた影響について、多面的・多角的に考察する。	①農業や工業の発展の特色について、さまざまな資料を活用しながら理解している。 ②南アメリカ州の産業が世界に与えている影響や、発展の一方でスラムが発生して貧富の差が拡大していることなどを、多面的・多角的に考察し、表現している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
1年3学期	1年後期	44	114   115	<b>4 ブラジルにみる開発と環境保全</b> ◎ブラジルでは、アマゾンなどで熱帯林の開発が進むことによって、どのような影響が生じているのだろうか。	(1) アマゾンの開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について、図やグラフの読み取りから理解する。 (2) 開発と環境保全の両立について、多面的・多角的に考察する。	①アマゾンの熱帯林開発とその保全の取り組みについて、資料を読み取り、理解している。 ②環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。 ③環境問題に関心をもたせ、開発と環境保全の両立について、考察している。
1年3学期	1年後期	45	116   117	節の学習を振り返ろう ■節の問い■ 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) 南アメリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して、南アメリカ州に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現する。 (3) 歴史的な背景や農地や鉱山の開発に着目しながら、南アメリカ州の課題を把握し、課題の解決を主体的に追究する。	①歴史的な背景をもちながら発展してきた南アメリカ州の産業とその影響について理解している。 ①発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、理解している。 ②ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付け、その解決策を多面的・多角的に考察している。 ③近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究している。
<b>第6節 オセアニア州</b>				オセアニア州を取りあげ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 (2) オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、オセアニア州の地域的特色を大観し理解する。 (3) オセアニア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 白豪主義から多文化社会への変化に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究する。	①オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。 ②オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。	
1年3学期	1年後期	46	120   121	<b>1 オセアニア州の自然環境</b> ◎オセアニア州は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) オセアニア州の自然環境の特色を、地図や景観写真から読み取り、理解する。 (2) オセアニア州の気候の特色を、景観写真や雨温図の読み取り、考察する。	①オセアニア州の地形の特色を、地図や景観写真を活用して読み取り、理解している。 ②オセアニア州の気候の特色を、写真や雨温図の読み取り、考察している。
1年3学期	1年後期	47	122   123	<b>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</b> ◎オセアニア州の文化の特色とその形成の経緯はどのようなものなのだろうか。	(1) オセアニア州への移民の歴史を理解し、移民の出身国が変化してきていることを資料から読み取り、理解する。 (2) オセアニア州の白豪主義から多文化社会への歩みを、歴史的経緯や先住民との関わりから考察する。	①町並みや宗教、言語などから、オセアニア州の植民地支配の歴史を理解している。 ①移民の出身国が多様化してきた理由と多文化社会への取り組みを理解している。 ②オーストラリアとニュージーランドの多文化社会への歩みやその重要性について、歴史的背景を踏まえて考察し、表現している。
1年3学期	1年後期	48	124   125	<b>3 他地域と結びついて発展する産業</b> ◎オセアニア州の国々の産業の発展には、他地域との結びつきがどのような影響を与えているのだろうか。	(1) オセアニア州の農業や鉱業の特色を理解し、日本との関わりについて資料から読み取る。 (2) オセアニアの国々が、政治や経済でアジアとの結びつきを強めていることについて、その背景や影響を考察する。	①オセアニア州の農業や鉱業の特色を理解している。 ①オセアニアの国々と日本との結びつきを資料から読み取ることができる。 ②オセアニアの国々が、政治や経済でアジアとの結びつきを強めていることを理解した上で、その背景や影響を考察している。
1年3学期	1年後期	49	126   127	学習を振り返ろう ■節の問い■ オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。	(1) オセアニア州について学習した内容を、図を用いて整理する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して、他地域との結びつきの変化がオセアニア州に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。 (3) 他地域との結びつきに着目しながら、オセアニア州の課題を把握し、課題の解決を主体的に追究する。	①オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。 ②オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③他地域との結びつきや影響に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究している。
<b>第3部 日本のさまざまな地域</b>						
<b>第1章 地域調査のしかた</b>				場所などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身につける。 (1) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 (2) 地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につける。 (3) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。	①地図や景観写真、統計資料などを的確に読み取る技能や、地域調査を行う際の視点、方法を理解している。 ②対象地域の地域的特色や課題をとらえるために適切な地理的事象を取りあげ、それらを多面的・多角的に調査、考察している。 ③対象地域の特色や課題を主体的に追究しようとしている。	
2年1学期	2年前期	50	128   129	<b>1 調査テーマを決めよう</b> ◎学校周辺の地域の調査テーマを決めるときは、どのような視点や手順を意識するとよいのだろうか。	(1) 身近な地域に対して日頃から感じている疑問や、身近な地域の地図、景観写真、統計資料などを見て抱いた疑問を整理・分類して、身近な地域を調査するテーマを決める。	①地図や景観写真、統計資料などを活用し、身近な地域に関する疑問を出させ、調べる視点や調査テーマを決める手順を理解している。 ②身近な地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察している。
2年1学期	2年前期	51	134   135	<b>2 調査方法を考えよう</b> ◎調査テーマを追究するためには、どのようなことを、どのような方法で調べればよいのだろうか。	(1) 調査方法と野外調査を組み合わせた計画的な準備を進める。 (1) 野外調査を安全に、効率よく行う方法を考える。	①調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめさせ、調査項目や調査方法について理解している。 ①調査方法に活用できる適切な地図や景観写真、統計資料を収集している。 ②調査テーマに対する仮説を検証するためには、どのような調査方法があるかを多面的・多角的に考察している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年1学期	2年前期	52	136   137	<b>3 野外調査を実行しよう</b> ◎野外観察や聞き取り調査を充実させるためには、どのような点を大切に実施すればよいのだろうか。	(1) 調査ノートを作成し、ルート上の調査や聞き取り調査の結果、景観のスケッチなどを記録する。 (2) 実際に野外調査を行うなかで、効率的かつ効果的な調査を考えながら実施する。	①仮説を検証するための調査を行っていることを理解している。 ①調査した結果を適切に記録したり、聞き取り調査を行ったりする方法を理解させる。 ②実際に野外調査を行うことを通して、効率的かつ効果的な調査を行うには、どのようにしたらよいかを、考えている。
2年1学期	2年前期	53	138   139	<b>4 調査を深めて結果を発表しよう</b> ◎調査した内容を深め、考察した結果を適切にまとめるためには、どのような点を大切にすればよいのだろうか。	(1) 調査のテーマや目的、調査方法、調査結果、結論などについて簡潔に記述する。 (2) 視覚的に分かりやすくまとめ、考察しながら発表の準備を行う。	①現地調査したことや、地図・文献資料などの考察を通して、地域の変容やその背景などをとらえ、地域の特色や課題を理解している。 ①調査結果を適切に分かりやすくレポートなどにまとめ、よりよい調査結果のまとめ方を理解している。 ②文献資料などを活用して、野外調査で明らかになった地域の特色や課題を多面的・多角的に考察している。
				<b>第2章 日本の地域的特色</b> <b>■章の問い■</b> 日本は、自然環境や人口、産業、交通・通信などの特徴から、どのような地域に区分できるのだろうか。	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信の項目」を取りあげ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 (2) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 (3) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 (4) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 (5) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解する。 (6) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身につける。 (7) 各項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 (8) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (9) 自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目しながら日本の地域的特色について、主体的に追究する	①日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 ②日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的特色について、主体的に追究しようとしている。
2年1学期	2年前期	54	140   141	<b>1 山がちな日本の地形</b> ◎日本の地形には、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 日本列島は国土に占める山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解する。 (2) 日本列島の地形の特色を、環太平洋造山帯との関わりから考察する。	①日本列島は山地の割合が高く、フォッサマグナを境に日本の地形の特色が東西で異なっていることを理解している。 ②日本列島で地震や火山が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりから考察している。
2年1学期	2年前期	55	142   143	<b>2 川がつくる地形と海岸や海洋の特徴</b> ◎日本の平野や海岸、日本を取り巻く海には、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 日本は、周囲を海に囲まれて多様な海岸線が見られることや、日本近海の地形や海流の特色を理解する。 (2) 川がつくるさまざまな地形の特色を理解し、どのような土地利用がなされているのか考察する。	①日本を取り囲む海岸線の特色と、大陸棚と海溝の違いや暖流と寒流の違いを理解している。 ②平野や盆地のほか、扇状地や三角州、台地など川がつくる地形の特色を理解させ、どのような土地利用がなされているのかを考察している。
2年1学期	2年前期	56	144   145	<b>3 日本の気候</b> ◎日本各地の気候には、地域ごとにどのような特徴があるのだろうか。	(1) 日本の気候の特色を世界の気候帯との関わりから理解する。 (2) 日本の気候を北と南、太平洋側と日本海側、内陸部と沿岸部などの視点から区分し、それぞれの気候区分の特色を雨温図から考察する。	①温帯と亜寒帯に属する日本の気候の特色を、四季の違いに着目して理解している。 ②地域により気候が異なる理由を、気候区分図や雨温図などを活用させ、地形や緯度、海流、季節風などから多面的・多角的に考察している。
2年1学期	2年前期	57	146   147	<b>4 日本のさまざまな自然災害</b> ◎日本で発生する自然災害は、地形や気候とどのような関わりがあるのだろうか。	(1) 地震や火山による災害の特徴を理解し、日本では地震や火山の災害が多い理由を理解する。 (2) 日本は台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多い理由を考察する。	①日本は地震や火山による災害のほか、台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを理解している。 ②日本で地震や火山による災害や気象災害が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりや四季が明確な気候など、日本の自然環境の特色から多面的・多角的に考察している。
2年1学期	2年前期	58	148   149	<b>5 自然災害に対する備え</b> ◎自然災害からの被害を防いだり減らしたりするために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) 自然災害の発生を防ぐことができないことに気付き、防災や減災の必要性について理解する。 (2) 災害への対策について、国や地方公共団体が行う取り組みのほかに地域や個人で行う対策について考察する。 (3) さまざまな自然災害から身を守るために、自分の地域で必要な対策や準備について、主体的に考察、追究する。	①自然災害への備えは、施設や設備によるハード面の対策と、情報の共有や防災訓練などのソフト面での対策が必要であることを理解している。 ②災害への対策は、自助、共助、公助の観点から、相互に補充し合って行われなければならないことを考察している。 ③さまざまな自然災害から身を守るために、自分の地域で必要な対策や準備について、主体的に粘り強く考察、追究している。
2年1学期	2年前期	59	152   153	<b>6 日本の人口</b> ◎日本の人口分布や人口構成には、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 日本の人口分布の特色と、人口が集中する地域と少ない地域の課題を理解する。 (2) 増え続けてきた日本の人口が減少に転じ、少子高齢化が進んでいる理由を考察する。	①日本の人口は三大都市圏に集中していることを理解するとともに、人口減少により、地域社会の維持が困難になっている地域が増えていることを理解している。 ②子育てと仕事の両立が難しいことを背景に、出生率が低下する一方、食生活の改善や医療技術の進歩などにより高齢化が進んでいることを多面的・多角的に考察している。
2年1学期	2年前期	60	154   155	<b>7 日本の資源・エネルギーと電力</b> ◎資源を輸入に頼る日本では、持続可能な社会を実現するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) 日本の資源やエネルギーの自給率が低いことを理解し、資源・エネルギーの安定確保のためにどのような取り組みが行われているか理解する。 (2) 日本の発電量の内訳が変化してきた理由とその課題を考察する。 (3) これからの日本のよりよい資源・エネルギーや電力供給の在り方について、主体的に追究する。	①日本は資源やエネルギーの自給率が低いため、資源のリサイクルや消費電力の少ない家電製品の開発、電気自動車の普及など、省エネルギーの取り組みを行っていることを理解している。 ②日本では、原子力発電の割合が減少し、火力発電に依存するようになった理由と、火力発電に依存することから生じる課題について考察させ、表現している。 ③これからの日本のよりよい資源・エネルギーや電力供給の在り方について、社会情勢を考慮しながら、主体的に粘り強く追究している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年1学期	2年前期	61	158   160	<b>8 日本の産業</b> ◎日本の産業には、どのような特徴や課題があるのだろうか。	(1) 様々な条件を考慮しながら培われた日本の産業の特色を理解する。 (2) 日本の農業・林業・漁業に共通する課題を考察する。	①日本では、地形や気候に合わせた農業や漁業、林業が行われていることを理解している。 ②輸入農産物の増加や後継者不足と高齢化など、日本の農業・林業・漁業に共通する課題について多面的・多角的に考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	62	162   163	<b>9 日本の交通網・通信網</b> ◎交通網や通信網が発達したことで、地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか。	(1) 輸送手段や交通網の発達により、世界と日本の結び付きが深まり、人々の生活が変化していることを理解する。 (2) 交通網や通信網の発達に伴う、利便性の向上と問題点について考察する。	①航空路線の拡大に伴って出入国者が増加し、国内では道路網の整備によって、自動車の割合が増加してきたことを理解している。 ②交通網や通信網の発達によって結び付きが強まることによる、利点や問題点を考察している。
2年1学期	2年前期	63	164	<b>10 日本の地域区分</b> ◎いくつかの視点をもとに日本を区分すると、どのような特色がみえてくるのだろうか。	(1) 日本はさまざまな視点から地域区分することができることや、地域区分の目的と利点を理解する。 (2) 主題図を基に自ら地域区分を行い、そこから読み取れる日本の特色を説明する。	①方言や食文化など、さまざまな視点から日本を区分することができることを理解しているとともに、地域を区分することの目的や利点を理解している。 ②さまざまな主題図を基に自ら地域区分を行わせ、そこから読み取れる日本の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	63	165	章の学習を振り返ろう ■章の問い■ 日本は、自然環境や人口、産業、交通・通信などの特徴から、どのような地域に区分できるのだろうか。	(1) 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信について学習した内容を振り返り、それぞれの特色を理解する。 (2) 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目してさまざまな日本の地域区分を考察する。 (3) 日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目して、日本の地域区分を追究する。	①日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の特色を、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 ②日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色を基に日本がどのように分かれるのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の自然環境や人口、産業、交通・通信の特色に着目して、日本の地域区分を主体的に粘り強く追究している。

**第3章 日本の諸地域**

<b>第1節 九州地方</b>				自然環境を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 自然環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 九州地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究する。	①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、それらの課題を理解している。 ②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。	
2年1学期	2年前期	64	170   171	<b>1 九州地方の自然環境</b> ◎九州地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 日本の南に位置する広大な九州地方は、海に囲まれ、火山が多い特色があることを理解する。 (2) 九州地方の気候の特色と、梅雨や台風などに伴う自然災害が起こる理由を考察する。	①火山が多く、リアス海岸やサンゴ礁も見られる九州地方の地形の特色を理解している。 ②九州地方の気候の特色を、ほかの地域の都市の雨温図と比較しながら考察している。 ③九州地方で発生しやすい自然災害について、雨温図を活用して考察している。
2年1学期	2年前期	65	172   173	<b>2 火山と共にある九州地方の人々の生活</b> ◎火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えについて理解する。 (2) 火山がもたらす産業や、人々の生活との関わりについて考察する。	①九州地方の火山や温泉の分布の特色を地図から読み取ることができる。 ①火山と共に暮らす人々の工夫や、噴火への備えの工夫について理解している。 ②火山が人々の生活や産業にもたらす影響について考察し、表現している。
2年1学期	2年前期	66	174   175	<b>3 自然を生かした九州地方の農業</b> ◎火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして、九州地方ではどのような農業が行われているのだろうか。	(1) シラスの分布と特性を理解するとともに、シラスでの農業の特色を理解する。 (2) 二毛作や促成栽培が盛んな地域の共通点を、自然環境に着目し、関連付けて考察・表現する。	①九州南部の農業の特色を、シラスの分布とその特質との関わりに着目して理解している。 ①九州で盛んな二毛作や促成栽培について、九州の気候に着目して理解している。 ②九州南部と北部で盛んな農業について、自然環境的な背景と関連付けて説明している。
2年1学期	2年前期	67	176   177	<b>4 都市や産業の発展と自然環境</b> ◎アジアの国々に近いということが、九州地方の都市や地域の産業の発展にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 福岡市が発展した背景を、大陸との距離に着目して理解する。 (2) 北九州市の工業が発展した経緯と現在までの工業の発展について、アジアの国々との位置関係に着目して考察する。	①福岡市や博多湾の位置と大陸との距離に着目して福岡市が発展した背景を理解している。 ②八幡製鉄所と旧筑豊炭田の位置に着目して八幡製鉄所が北九州に造られた理由を考察している。 ③福岡県における観光業や工業の発展についてアジアの国々との位置関係から考察している。
2年1学期	2年前期	68	178   179	<b>5 南西諸島の自然と人々の生活や産業</b> ◎南西諸島の自然環境は、人々の生活・文化や歴史、産業とどのように関わっているのだろうか。	(1) 沖縄独自の文化や沖縄が抱える課題について、位置や結び付きの視点に着目し、理解する。 (2) 南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景を、自然環境の視点に着目して考察する。	①沖縄が抱える課題について、位置や結び付き、経済の観点に着目して理解している。②南西諸島で特色ある生活や産業がみられる背景について、自然環境の特色に着目して考察している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年2学期	2年前期	69	180   181	学習を振り返ろう  ■節の問い■ 九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 九州地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して九州地方の特色を考察する。 (3) 九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究する。	①九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解させ、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、さまざまな情報を調べ、理解している。 ②九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結び付き、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に粘り強く追究している。
第2節 中国・四国地方				■節の問い■ 中国・四国地方での交通網・通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	交通や通信を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 交通や通信を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 中国・四国地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に追究する。	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化や課題について理解している。 ②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究しようとしている。
2年2学期	2年前期	70	186   187	1 中国・四国地方の自然環境  ◎中国・四国地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 三つの地域の気候の特色について、中国・四国地方の地形の特色と関連付けながら理解する。 (2) 中国・四国地方が三つの地域に分けられる理由について、自然環境の特色を基に考察する。	①中国・四国地方の気候に影響を与える山地の位置と名称、その特色を理解している。 ②中国・四国地方の気候の特色を、雨温図で示された都市の位置から考察し、山陰・瀬戸内・南四国に分けて表現している。
2年2学期	2年前期	71	188   189	2 交通網の整備と人々の生活の変化  ◎本州四国連絡橋や高速道路網の整備は、離島や山間部の人々の生活と他地域との結びつきをどのように変化させたのだろうか。	(1) 本州と四国を結ぶ交通網の変化を理解する。 (2) 本州と四国を結ぶ三つのルートの開通によって、地域に起きた変化について考察する。	①本州と四国を結ぶ本州四国連絡橋の三つのルートの位置と名称、その変化を理解している。 ②交通網の整備による、中国・四国地方と他地域との結び付きの変化について考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	72	190   191	3 瀬戸内海の内海と工業の発展  ◎海運を利用して発達した瀬戸内海に面した地域の工業は、どのように変化してきたのだろうか。	(1) 瀬戸内の臨海部に工業が発達した経緯を、自然環境や原料・製品輸送の面から理解できる。 (2) 瀬戸内工業地域で、新しい工業製品の開発や生産が進められている理由を考察できる。	①瀬戸内で工業が発達した経緯を、地形の特色や原料・製品の輸送に着目させ、理解させる。 ②瀬戸内工業地域で新しい工業製品が生産されている理由を、企業の海外進出や外国との競争などから多面的に考察させ、説明させる。
2年2学期	2年前期	73	192   193	4 交通網を生かして発展する農業  ◎温暖な瀬戸内や南四国で生産される農産物は、どのようにして競争力を高め、全国へ市場を広げていったのだろうか。	(1) 瀬戸内や南四国で盛んな農業の特色を理解する。 (2) 瀬戸内や南四国では、農産物の市場をどのようにして拡大してきたかを考察する。	①気候の特色に関連付けて瀬戸内ではかんきつ類の栽培、南四国では野菜の促成栽培が盛んなことを理解している。 ②輸入品や産地間の競争に対応するため、品種改良を重ねたり輸送方法を工夫したりして市場の拡大を図ってきたことを考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	74	194   195	5 人々を呼び寄せる地域の取り組み  ◎交通網や情報通信技術の整備は、観光産業や人々の暮らしに、どのような変化を生み出したのだろうか。	(1) 高齢化が進んでいる中国・四国地方の山間部や離島では、地域おこしの取り組みが行われていることを理解する。 (2) 山陰では、観光業をどのように発展させているかを、地域の特色と関連付けて考察する。	①過疎化が進んでいる地域で行われている地域おこしの取り組みの特色を理解している。 ②山陰では交通網の整備や地域の歴史・文化などを生かして、観光業を発展させていることを考察し、表現している。
2年2学期	2年前期	75	196   197	学習を振り返ろう  ■節の問い■ 中国・四国地方での交通網・通信網の整備は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 中国・四国地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して中国・四国地方の特色を考察する。 (3) 中国・四国地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の結び付きによる地域の変化や課題を主体的に追究する。	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結び付きの変化と、それに関連する産業や生活の変化について理解している。 ②中国・四国地方の結び付きの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫などと有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究している。
第3節 近畿地方				■節の問い■ 近畿地方での環境保全の取り組みは、人口増加や産業発展のなかで、どのように行われてきたのだろうか。	環境保全を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 近畿地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	①地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年2学期	2年後期	76	202   203	<b>1 近畿地方の自然環境</b> ◎近畿地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解することができる。 (2) 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解することができる。	①近畿地方の気候の特色を地形との関わりから理解している。 ②近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形の特色から考察している。
2年2学期	2年後期	77	204   205	<b>2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏</b> ◎京阪神大都市圏の水源である琵琶湖とその周辺では、水質や環境の保全のために、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。	(1) 琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察できる。 (2) 琵琶湖の水を守る取り組みの歴史的な経緯を理解し、環境保全の大切さに気付くことができる。	②琵琶湖の水質を保全するために、どのような取り組みが必要なのかを考察している。 ③琵琶湖と淀川の水質保全について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2年2学期	2年後期	78	206   207	<b>3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み</b> ◎阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた課題をどのように解決しようしてきたのだろうか。	(1) 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解することができる。 (2) 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共存していくための取り組みについて調べ、課題の解決について考察することができる。	①阪神工業地帯の特色について、臨海部の変化を中心に理解している。 ①阪神工業地帯における工業の発展と共に生じた課題の解決について考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	79	208   209	<b>4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全</b> ◎京都と奈良では、歴史的景観を保全するために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) 京都や奈良では、歴史的な景観や文化財を保全し、観光資源としていかしていることを理解することができる。 (2) 京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由を考察することができる。	①京都や奈良には、歴史的な景観や多くの文化財を保全し、観光資源として生かしていることを理解している。 ②京都や奈良で、歴史的景観を保全する取り組みが行われている理由を考察している。 ③京都や奈良について、よりよい社会の実現を視野に、歴史的景観を保全するための課題を主体的に追究しようとしている。
2年2学期	2年後期	80	210   211	<b>5 環境に配慮した林業と漁業</b> ◎近畿地方では、森林の保全や水産資源の保護のために、どのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) 近畿地方の林業や漁業では、環境保全のためにどのような取り組みを行っているかを理解することができる。 (2) 近畿地方の林業は、森林管理の技術を受け継ぐ若い後継者が少ないことが課題であることに気づき、どのようなことができるかを考察することができる。	①近畿地方の林業や漁業の特色を、資料などを活用して理解している。 ②林業の後継者不足や水産資源の保護を地域の課題として捉え、その対策を考察している。
2年2学期	2年後期	81	212   213	学習を振り返ろう <b>■節の問い■ 近畿地方での環境保全の取り組みは、人口増加や産業発展のなかで、どのように行われてきたのだろうか。</b>	(1) 近畿地方について学習した内容を、地図を用いて整理し、理解することができる。 (2) 近畿地方での環境保全の取り組みについて、人口増加や産業の発展の中でどのように行われてきたのかを考察し、表現することができる。 (3) 近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究することができる。	①地図にまとめる学習活動を通じて、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全の取り組みについて理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。 ③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の特色を、主体的に追究しようとしている。
<b>第4節 中部地方</b>				<b>■節の問い■ 中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。</b>	産業を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 産業を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 中部地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	①さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取ることができるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究している。
2年2学期	2年後期	82	220   221	<b>1 中部地方の自然環境</b> ◎中部地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 中部地方の山脈や、そこから流れる河川がつくる地形の特色を理解する。 (2) 中部地方は地形や気候の特色から、東海・中央高地・北陸の三つの地域の違いを考察する。	①日本アルプスの位置と主な河川の名称を確認させ、河川によって形成された地形の特色を理解している。 ②中部地方の三つの地域の特色を、地形や気候などの自然環境の特色と関連付けながら考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	83	222   223	<b>2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏</b> ◎名古屋を中心とする地域では、どのようにして自動車などの輸送機械工業が盛んになったのだろうか。	(1) 名古屋大都市圏の広がりや、交通網による他地域とのつながりについて理解する。 (2) 中京工業地帯の発展の経緯や、現在の特色について考察する。	①名古屋大都市圏の形成について、中京工業地帯の位置と広がりや周辺地域とのつながりから理解している。 ②豊田市を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を、産業の移り変わりや人々の工夫、周辺地域との結び付きに着目して考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	84	224   225	<b>3 東海で発達するさまざまな産業</b> ◎東海の産業は、自然環境や交通網などの条件を生かして、どのように発達してきたのだろうか。	(1) 静岡県では豊富な水資源や森林資源を生かした工業や、その技術を基にして発展した産業が盛んであることを理解する。 (2) 静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、地域の特色との関連から考察する。	①製紙・パルプ工業や施設園芸農業が発展した理由を理解している。 ②静岡県で楽器の生産や製紙業が発展した背景を、豊富な水資源や森林資源とその加工技術との関わりから考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	85	226   227	<b>4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり</b> ◎内陸で山あいの環境にある中央高地では、時代の変化に合わせてどのように産業が発展してきたのだろうか。	(1) 中央高地の自然環境を生かした農業の変化と、交通網の発達を理解する。 (2) 諏訪湖周辺の工業の変化について、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展と関連付けて考察する。	①自然環境の特色と関連付けて、山梨県と長野県で生産が盛んな農業や交通網の変化の特色を理解している。 ②諏訪湖周辺の工業の変化を、自然環境や歴史的な経緯、交通網の発展を基に、その特色と関連付けて考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	86	228   229	<b>5 雪を生かした北陸の産業</b> ◎雪が多い北陸では、自然環境との関わりをなかで、どのように産業が発展してきたのだろうか。	(1) 北陸では、雪どけ水を稲作や火力発電などに活用することで産業を発展させてきたことを理解する。 (2) 地場産業が発展した理由を、自然環境の特色や技術の発展などと関連付けて考察する。	①北陸の農業と地場産業の特色を、自然環境との関わりに着目させ理解している。 ②北陸で地場産業が発展した理由を、地域の歴史的な背景や冬期間の副業と内職の技術、水力発電の電力などに着目して考察し、表現している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年2学期	2年後期	87	230   231	学習を振り返ろう ■節の問い■ 中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。	(1) 中部地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 中部地方の産業について、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのかを考察し、表現することができる。 (3) 中部地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備による産業の変化や課題を主体的に追究する。	①さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取るとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色について、交通網の整備や自然環境の課題の克服に関する人々の工夫・努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究している。
第5節 関東地方				■節の問い■ 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 関東地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に追究する。	①関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。 ②関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。
2年2学期	2年後期	88	236   237	1 関東地方の自然環境 ◎関東地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 関東地方の自然環境の特色を、山地や平野などの地形に着目して理解する。 (2) 東京大都市圏への人口集中が、都市の気候にどのような影響を与えているか考察する。	①関東山地が周囲を取り囲み、その中に広大な関東平野が広がっているという地形の特色と関連付けて自然環境の特色を理解している。 ②関東地方への人口集中がヒートアイランド現象などの気候の課題にどのような影響を与えているか考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	89	238   239	2 多くの人が集まる首都、東京 ◎日本の首都であり、多くの人が集まる東京には、どのような特徴があるのだろうか。	(1) 人口が集中する東京は、官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地するほか、全国の交通網の起点になっていることなど、政治や経済の中心となっていることが理解する。 (2) 千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、さまざまな背景から考察する。	①東京は、首都として官庁や大使館、大学、企業、金融機関などの諸機関が立地し、政治や経済の中心となっていることや、全国各地と結び付く交通網の起点になっていることを理解している。 ②千代田区や新宿区で昼夜間人口に違いが生じる理由について、東京の中心部と周辺部の機能の違いから考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	90	240   241	3 東京大都市圏の課題と対策 ◎東京への人口集中によって、東京大都市圏ではどのような課題や変化がみられるのだろうか。	(1) 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことを理解し、過密問題に対して取られてきた対策を理解する。 (2) 1970年代以降につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを考察する。	①人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことや、過密問題に対して取られてきた対策を理解している。 ②多摩ニュータウンと港北ニュータウンを事例に、1970年代につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	91	242   243	4 工業地域の変化と第3次産業の発達 ◎関東地方における工業や第3次産業の発達は、人口の集中とどのように関係しているのだろうか。	(1) 商業は人口が集中する地域や情報・通信が発達した地域に立地することを、分布図などを活用しながら理解する。 (2) 東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察する。	①商業施設の立地や分布について、資料を活用しながら理解しているとともに、交通網の発達に伴う小売業の変化とそれに伴う地域の課題についても理解している。 ②東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	92	244   245	5 大都市周辺の農業と山間部の過疎問題 ◎東京大都市圏の周辺の農業地域や山間部は、人口の多い東京大都市圏と、どのように結びついているのだろうか。	(1) 東京大都市圏からみた周辺の農業地域や山間部の役割について理解する。 (2) 関東地方の山間部の特色と課題を理解し、高齢化と過疎の解決策について考察する。	①東京大都市圏の周辺で農業が盛んな理由と、生産されている主な農産物について理解している。 ②東京大都市圏からみた山間部の役割と課題、高齢化と過疎の解決に向けて、上野村の取り組みを通して、移住者を増やしたり交流人口を増やしたりする方法を考察し、表現している。
2年2学期	2年後期	93	246   247	学習を振り返ろう ■節の問い■ 関東地方における人口の集中は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 関東地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 関東地方における人口の集中について、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうかを考察し、表現することができる。 (3) 関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中による人々の生活の変化や課題を、主体的に追究することができる。	①関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。 ②関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結び付き、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。
第6節 東北地方				■節の問い■ 東北地方の人々の生活や文化は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。	生活・文化を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 生活・文化を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 東北地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究する。	①地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。 ②東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりなどどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。 ③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究している。
2年3学期	2年後期	94	252   253	1 東北地方の自然環境 ◎東北地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 東北地方の地形や気候などの自然環境の特色を理解する。 (2) 地形の特色や緯度の関係から、東北地方の気候の特色を考察する。	①東北地方は南北に長く、大きな河川の流域には広い盆地や平野が形成されていることを理解している。 ②東北地方の南北と東西の気候の特色について、地形や緯度と関連付けて考察し、表現している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年3学期	2年後期	95	254   255	<b>2 伝統行事と生活や文化の変化</b> ◎東北地方の伝統的な祭りや行事は、人々の生活とどのように関わってきたのだろうか。	(1) 交通網の整備による、東北地方の祭りや生活の移り変わりを理解する。 (2) 東北地方の祭りや行事の特色を、自然環境などと関連付けて考察する。	①東北地方の伝統的な祭りや行事は、農業に由来するものが多いことを理解している。 ②東北地方の伝統行事や人々の生活の変化を、交通網の整備の観点から考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	96	256   257	<b>3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力</b> ◎東北地方の人々は、農業を発展させたり生活を豊かにしたりするために、どのような工夫をしてきたのだろうか。	(1) 東北地方の冷涼な気候に対応した、稲作と畑作の工夫について理解する。 (2) 東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、減反政策との関わりから考察する。	①東北地方で米の生産が盛んな理由を、東北地方の自然環境と栽培の工夫と関連付けて理解している。 ②東北地方で銘柄米の開発が行われてきた理由を、日本の米の消費量の減少に伴う減反政策と産地間の競争から考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	97	258   259	<b>4 水産業と果樹栽培における人々の工夫や努力</b> ◎東北地方の人々の生活と結びついた水産業や果樹栽培では、どのような取り組みが行われているのだろうか。	(1) 東北地方の果樹栽培や水産業の特色を理解する。 (2) 東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、自然環境と生産の工夫から考察する。	①東北地方で栽培が盛んな果樹と、その主な生産地を理解している。 ②東北地方で果樹栽培が盛んな理由を、水はけがよい地形や昼夜の寒暖差が大きい気候、新しい品種の開発といった生産の工夫などから考察し、表現することができる。
2年3学期	2年後期	98	260   261	<b>5 工業の発展と人々の生活の変化</b> ◎東北地方の工業や人々の生活は、どのようなことをきっかけに、変化してきたのだろうか。	(1) 交通網の整備に伴ってみられる、東北地方の工業や人々の生活の変化を理解する。 (2) 東北地方では、再生可能エネルギーの導入が盛んであることを関連付けて、再生可能エネルギーの在り方について考察する。	①東北地方で工業が盛んな都市の分布の特色や伝統的工芸品の特色と変化を理解している。 ②東北地方では、再生可能エネルギーの導入が進められていることに着目して再生可能エネルギーの在り方について考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	99	262   263	学習を振り返ろう <b>■節の問い■ 東北地方の人々の生活や文化は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。</b>	(1) 東北地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して東北地方の特色を考察する。 ②東北地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、人々の生活や文化の特色と課題を主体的に追究する。	①地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取らせ、地域的特色や課題について理解している。 ②東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどう関わっているのか、多面的・多角的に考察している。 ③東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、人々の生活や文化と自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に粘り強く追究している。
<b>第7節 北海道地方</b>				自然環境を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身につける。 (1) 北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。 (2) 自然環境を中核とした考察の仕方を取りあげた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (3) 北海道地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を主体的に追究する。	①北海道地方の冷涼な気候の特色を理解するとともに、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。 ②冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫を、主体的に粘り強く追究している。	
2年3学期	2年後期	100	268   269	<b>1 北海道地方の自然環境</b> ◎北海道地方は、地形や気候にどのような特徴がみられる地域なのだろうか。	(1) 日本の北端に位置し、広大な面積をもつ北海道では、独特な地形や景観がみられることを理解する。 (2) 亜寒帯に属する寒冷な北海道の気候について、地域による違いが生じる理由を考察する。	①北海道の山脈や山地、平野の名称や北海道の気候の特色を地形や海流の特色を踏まえて理解している。 ②北海道地方と九州地方の地形や気候を比べて、共通点と相違点を考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	101	270   271	<b>2 雪と共にある北海道地方の人々の生活</b> ◎北海道地方の人々は、雪をどのように克服したり、活用したりしているのだろうか。	(1) 北海道で行われている、雪に備える工夫や雪を生かした取り組みについて理解する。 (2) 雪が人々の生活にどのような影響を与えているかを考察する。	①北海道の厳しい冬の寒さや雪に対する備えや雪を観光資源やエネルギー源として活用している取り組みを理解している。 ②雪が人々の生活にどのような影響を与えているかを考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	102	272   273	<b>3 自然環境を克服して発展した畑作や稲作</b> ◎北海道地方は、厳しい自然環境をどのように克服して、畑作や稲作を発展させてきたのだろうか。	(1) 北海道で米の生産が盛んになった経緯を、開拓の歴史を踏まえて理解する。 (2) 北海道で行われている土地改良や品種改良の取り組みの必要性について、自然環境との関わりから考察する。	①石狩平野は、屯田兵などによる開拓や、泥炭地の土地改良によって日本有数の米どころになったことを理解している。 ②泥炭地が広がっていたことや、味のよい米を開発する背景には、北海道の冷涼な気候が関わっていることを考察し、表現する。
2年3学期	2年後期	103	274   275	<b>4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</b> ◎北海道で、畑作や酪農、漁業が盛んになったのはなぜだろうか。	(1) 北海道で生産が盛んな農産物や漁獲量の多い水産物の実態を理解する。 (2) 北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由について、自然環境との関わりから考察する。	①北海道の生産量が全国の上位を占める主な農産物や水産物を理解している。 ②北海道で畑作や酪農、漁業が盛んになった理由を、冷涼な気候や沖合の海流を踏まえて考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	104	276   277	<b>5 北国の自然を生かした観光産業</b> ◎北海道地方の自然環境と観光産業の発展には、どのような関係があるのだろうか。	(1) 北海道では、豊かな自然や新鮮な食べ物を生かした観光業が盛んであることを理解する。 (2) 北海道の観光業の持続可能な発展に向けて必要なことについて考察する。	①北海道には魅力的な観光地が多いことと、観光客が増えた理由について理解している。 ②北海道を訪れる外国人観光客が増加している理由を、北海道の自然環境の特色から考察しているとともに、環境を保全しながら観光業を発展させるために必要なことについて考察し、表現している。

※総時限数を115で構成した(予備5時限分、「学習を振り返ろう」17時限分、「第4部 地域のあり方」5時限分を含む。その他の特設ページはここに含めていない)。

学期	前後期	時限	教科書ページ	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
2年3学期	2年後期	105	278   279	学習を振り返ろう  ■節の問い■ 北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 北海道地方について学習した内容を、地図を用いて整理して理解する。 (2) 「節の問い」に答える活動を通して北海道地方の特色を考察する。 (3) 北海道地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、地域の課題などと有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 (4) 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と人々の生活の変化や課題を主体的に追究する。	①北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。 ②冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に粘り強く追究している。
<b>第4部 地域の在り方</b>						
<b>第1章 地域の在り方</b>				空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身につける。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。 (3) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 (4) 地域の発展や持続可能な社会を目指すために、これからの地域の在り方について関心をもち、主体的に追究する。		①解決に向けて考察・構想したことを適切に説明するとともに、地域の実態や課題解決の取り組みについて理解している。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこでみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察・構想している。 ③地域の発展や持続可能な社会を目指すために、これからの地域の在り方について関心をもち、主体的に粘り強く追究している。
2年3学期	2年後期	106	284   285	<b>1 追究するテーマを決めよう</b> ◎地球的課題や地域にみられる課題を振り返り、追究するテーマを設定しよう。	(1) 持続可能な地域の在り方を構想するために、地域の地理的な課題を把握し、その解決に向けた追究の問い(テーマ)を設定する。 (3) 地域の在り方について、課題を主体的に追究、解決するために見通しをもつ。	①地域の在り方を考える際に追究する問いを、地理的な見方・考え方や注目する視点を生かしながら設定している。 ③地域の在り方について、課題を主体的に追究、解決するために調整しながら見通しをもつことができる。
2年3学期	2年後期	107	286   287	<b>2 地域の実態を調査しよう</b> ◎テーマを追究するために、何をどのように調べればよいかを考えて、資料や情報を収集しよう。	(1) 地図や統計などの諸資料を積極的に収集させたり、必要な情報をグラフや主題図にまとめさせたりするなど、収集した資料を適切に活用する。 よりよい社会の実現を視野に、地域の特色や課題などの実態を把握し、主体的に資料を収集する。	①課題解決に向けて計画を立てるとともに、地域の実態について諸資料からさまざまな情報を効果的に調べさせ、まとめる技能を身に付けている。 ③よりよい社会の実現を視野に、地域の特色や課題などの実態を把握し、自ら粘り強く資料を収集することができる。
2年3学期	2年後期	108	288   289	<b>3 地域の魅力と課題を分析・考察しよう</b> ◎収集した資料や情報をもとに地域の魅力と課題を分析し、その要因を考察しよう。	(1) 調査結果を分析したり、他地域の状況と比較したりすることを通して、地域の課題の要因を考察する。	②地域の課題の要因について、他地域の状況や地域内独自の要素に着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。
2年3学期	2年後期	109	290   291	<b>4 地域の課題の解決策を構想しよう</b> ◎調査したことをもとに、課題の解決と地域の魅力を生かすアイデアを具体的に示そう。	(1) 地域の課題を解決するために必要な取組を考え、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想し、議論する。 (2) 持続可能な社会を目指す一員であるという自覚をもち、持続可能な地域の在り方を主体的に追究する。	②地域の課題を解決するために必要な取組を多面的・多角的に考察しているとともに、よりよい地域の在り方を主体的に考察・構想し、表現している。 ③持続可能な社会を目指す一員であるという自覚をもち、持続可能な地域の在り方を主体的に粘り強く追究している。
2年3学期	2年後期	110	292   293	<b>5 解決策と魅力を高める提案をしよう</b> ◎課題の解決を図り、地域の魅力を生かすアイデアを分かりやすく他者に提案しよう。	(1) ほかの生徒の発表などを通して、地域の実態におけるさまざまな側面や、それに対する課題解決のための取組を理解する。 (2) 構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信する。 (3) これからの地域の在り方について考察・構想し、学習の成果を基に、自らの考えを調整しながら主体的に追究する。	①ほかの生徒の発表などを通して、地域の実態におけるさまざまな側面や、それに対する課題解決のための取組を理解している。 ②構想の成果を分かりやすく説得力ある伝え方でまとめ、発表会や提言などの形で発信することができる。 ③これからの地域の在り方について粘り強く考察・構想し、学習の成果を基に、自らの考えを調整しながら主体的に追究している。